

訪問ガイド 2026

ジャケマール・アンドレ美術館

パリ から 19€

https://www.jacquemart-andre.com/ 公式サイトで最新の営業時間・料金を確認



歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

帝国の富が博物館に

GOOGLE 4.5 ★★★★☆ 10 220 レビュー

TIQETS 4.6 ★★★★★ 2 912 レビュー

ジャケマル＝アンドレ美術館の歴史は、第二帝政期において最も富裕な一族の一つを継いだエドゥアール・アンドレから始まる。 ニーム出身で、ナポレオン3世の私設衛兵団の元メンバーであった彼は、1868年に5,700平方メートルの土地を152万フランという巨額で購入した。 彼は建築家アンリ・パランに、豪華な接待に特化した邸宅の建設を依頼した。この邸宅は当時最新のあらゆる利便施設を備えており、14頭の馬を収容できる馬車庫も含まれていた。 1881年、エドゥアールは若き画家ネリー・ジャケマルトと結婚した。彼女は後に収集への情熱において彼に匹敵する存在となる人物であった。 彼らは体系的に卓越したコレクションを構築し、ネリーはルネサンス期のイタリア絵画に特化した。 彼らの住居は洗練された趣味の鏡となり、各サロンは貴重なコレクションを際立たせるよう整えられていた。1894年にエドゥアールが亡くなった後、ネリーは単身でこの野心的なプロジェクトを続けた。 彼女はその後、フランス学士院にホテルとそのコレクションを遺贈することを決めた。ただし、厳格な条件として、家具は決して移動してはならないと定めた。 この要件により、当初の装飾の完全性が保たれ、今日では一般の人々に、ベル・エポック期のパリの上流階級の生活様式を完全に体験させることが可能になっています。 この博物館は、1913年12月8日にレイモン・プアンカレ大統領によって正式に開館した。 1996年以来、カルチュラスペースによって管理されてきたこの場所は、その卓越した保存状態により、今なお人々を魅了し続けています。 2023年秋から実施された修復作業により、ティエポロのフレスコ画と主階段の大理石が元の輝きを取り戻し、このパリ遺産の宝石が将来の世代にまで完全に保存されることを保証している。

体験

158号オスマン大通りの敷地を跨ぐと、時間が止まったかのように感じられる。 この邸宅ホテルの静謐な雰囲気は、あなたを瞬時に現代パリのはやてな喧騒から遠くへ連れ出します。 自然光がイヴェール・ド・ヴィトローのステンドグラスを透過し、ティントレットやベッリーニといった巨匠たちの絵画を照らし出し、建築と芸術の間で息を呑むような視覚的調和を生み出している。 豪華な床を歩き、20世紀初頭から動いていないアンティーク家具に囲まれています。 各室は物語を語り、各オブジェは洗練されたライフスタイルの証となる。 これは、単に絵画を鑑賞するだけでなく、まだその優雅で保存された世界の中で生活している大規模なコレクター一家の親密な空間に深く入り込むことができる、五感すべてを刺激する完全な体験です。



訪問の準備

実用的な情報

住所
8区・メトロ：ジョルジュ5世駅（L1線）またはオスマン駅（L2, L7, L9線）、大通り近くの出口をご利用ください。

開館時間
毎日開館しています。季節や特別展によって営業時間が異なる場合がありますので、ご来館前に公式サイトをご確認ください。

料金
7歳未満および障害のある方は無料です。{promo}。

所要時間
常設コレクションと特別展を十分に楽しむには最低2時間、ティーラウンジでの休憩を含む時間を確保してください。

写真撮影
フラッシュなしで撮影が可能です。必見の写真スポットは、最近修復されたメイン階段です。

対象者
ファミリー向け（7歳未満は無料）ですが、ベビーカーは禁止されています。階段では抱っこひもをおすすめします。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

メトロ / **RER**
: ミロメニール — 5 min à pied
サン・ラザール駅 (9 min) · ノートルダム・ド・パリ駅 (14 min)

バス
: ミロメニール — 5 min à pied
サン・ラザール駅 (12 min) · ノートルダム・ド・パリ駅 (22 min)

車
サン・ラザール駅 (7 min) · ノートルダム・ド・パリ駅 (14 min)

Vélib / 自転車
サン・ラザール駅 (7 min) · ノートルダム・ド・パリ駅 (18 min)

LOCALISATION

Où se trouve ジャケマール・アンドレ美術館 ?



📍 158,Boulevard Haussmann — 75008 パリ

🌐 48°52.533′ N, 2°18.625′ E



組織

サロンを巡るコース

1階（主要サロン）

このフロアには、最近修復された大階段を含む最も壮観な応接間が設けられています。イタリア・ルネサンスの重要な作品や古典的な彫刻が展示されています。サロンには当時のタペストリーや磁器で調度され、所有者たちの社会的地位を反映しています。

1階（プライベート住居）

ここでは、エドゥアール・ジャケマルとネリー・ジャケマルの寝室や書斎にアクセスできます。これらの個人的な空間は、彼らの本、科学機器、家族の肖像画を通じて、この夫婦の個性を明らかにしています。ここでは光がより柔らかく調整されており、装飾の詳細をより静かに鑑賞するよう誘います。

冬園と副サロン

美術館の建築上のハイライトである冬園は、イタリアコレクションを一望できる開放的なビューを提供します。隣接する展示室には、レムブラントやファン・ダイクを含むフランドルおよびオランダの作品が展示されています。この空間は、古い絵画のニュアンスを鑑賞するために不可欠な自然光を最大限に活用するように設計されています。

アクセシビリティ

♿ 車椅子アクセス

車椅子でアクセス可能ですが、エレベーターが設置されていない歴史的な階段にご注意ください。

👨‍👩‍👧 ファミリー向け

ファミリーに最適。7歳未満は無料ですが、ベビーカーは入館不可（抱っこひも推奨）。

🎧 オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選択

必見の至宝たち

01 **JACOPO TINTORETTO** イタリア・サロン

チントレット – 聖母子像

このヴェネツィア・ルネサンスの代表作は、イタリアコレクションの核心を体現しています。ダイナミックな構図と鮮やかな色彩は、チントレットの天才を物語っています。初期バロック様式の特色である劇的な光が人物を彫刻的に表現している様子をご覧ください。

> 💡 ネリー・ジャケマールは、この絵画を個人的に収集しており、収蔵されている137点のイタリア絵画の中から傑作を見抜く彼女の卓越した眼差しを示しています。

02 **GIOVANNI BATTISTA TIEPOLO** 大広間

ティエポロのフレスコ画

2023年に最近修復されたこの壁面フレスコ画は、ロココ芸術の宝石です。圧倒的な規模を誇り、神話の場面を独特の軽やかさで描いています。修復により元の顔料が復元され、訪問者に前例のない鮮明さをもたらしました。

> 💡 このフレスコ画は第二次世界大戦中に損傷を受けましたが、当時の写真アーカイブのおかげで細心の注意を払って再構築されました。

03 **REMBRANDT VAN RIJN** フランドル巨匠展

レンブラント – 男性の肖像

レンブラントの心理的リアリズムの完璧な例。明暗の対比（キアロスkypo）がモデルの顔に不気味な深みを与えている。この作品は、隣接する展示室にあるイタリア人画家の技法とオランダの技法を直接比較するのに役立つ。

> 💡 この肖像画は、17世紀オランダ派に明確な好みを持っていたエドゥアール・アンドレによる希少な直接購入品の一つである。

04 正門

主階段

2023年の修復後、この大理石とブロンズ製の階段は博物館の必撮スポットとなりました。手すりの彫刻細部や威厳ある街灯は、ベル・エポック（美好時代）の華やかさを物語っています。訪客が到着した際に最初に目に入る要素です。

> 💡 この階段は当初、ジャケマルタン＝アンドレ夫妻が主催する大規模な接待行事における劇的な登場のために使用されていました。

05 **SANDRO BOTTICELLI** ルネサンスのサロン

ボッティチェリ – 人物研究

フィレンツェ期に作られた希少な作品で、巨匠による線描画の卓越した技術を示しています。線の繊細さとポーズの優雅さは、ヴェネツィア派の力強さとは対照的です。この作品は、コレクションに収められているイタリア各地の美術流派の多様性を浮き彫りにしています。

> 💡 この研究画は、おそらく現在失われたより大きなフレスコ画のモデルとして使用され、当時の工房における一般的な制作手法を物語っています。

06 プライベート・アパートメント

マダムのお部屋

ネリー・ジャケマルの親密な内装。シルクのカーテンやルイ15世様式の家具が並び、コレクターとしての彼女の人間味を際立たせる私的な品々が展示されています。このお部屋は、夫妻の公的な名声の裏にある日常の姿を独自の視点から垣間見ることができます。

> 💡 ネリーはこの部屋を第二のアトリエとして使用し、来客の視線を避けて自身の水彩画を描いていました。

07 **ANTHONY VAN DYCK** フランドル巨匠展

ヴァン・ダイク – 貴族の肖像

イギリス宮廷に典型的な格式を重んじた肖像画で、ヴァン・ダイクが最も輝いた分野である。豪華な衣装と威厳あるポーズは、17世紀の貴族の権力を反映している。この作品は、フランドル美術とフランスの肖像画伝統との架け橋となっている。

> 💡 エドゥアール・アンドレはロンドンでの著名なオークションでこの絵画を購入し、複数のヨーロッパの競争相手を退けた。

08 東翼

冬園

このガラス張りの空間は自然光で部屋を明るく照らし、絵画の細部を鑑賞するのに最適です。ビクトリア朝の温室に着想を得た建築構造は、自然と芸術の間に魅力的な対話を生み出しています。しばしば訪問者たちが静かな思索のひとときを過ごすために好まれる場所です。

> 💡 冬園は1870年代に追加され、ネリーが新しいコレクションを監視しながら植物学に没頭できるようにするために設けられました。

アドバイス

訪問の準備を整える

タイミング

狭い部屋を持つ邸宅で、特に期間限定展の時期には混雑を避けるため、開館直後の早朝に訪問するよう予約してください。

チケット

チケットはオンラインで事前購入し、優先入場パスとしてご利用ください。複数の博物館を訪問される場合は、「プリヴィレージュカード」（50ユーロ）が経済的で、優先入場の利便性も提供されます。

見学ルート

主役とされるルネサンス期のイタリアコレクションから始め、その後装飾芸術や私室へと移動し、エネルギーを管理してください。

写真

2023年の修復後のメイン階段を撮影してください。ここは必見の撮影スポットです。大理石やブロンズの彫刻の細部をじっくりと鑑賞する時間を取ってください。

休憩

Culturespacesが運営するティーサロン「ル・ネリー」でのひとときで、あなたの訪問を締めくくりましょう。ここでは、温かい飲み物と洗練されたパティスリーとともに、19世紀の雰囲気をより長く味わうことができます。

子ども

安全上の理由から、ベビーカーの使用は禁止されています。邸内の階段や狭い通路をスムーズに移動できるよう、抱っこひもをご利用ください。

オーディオガイド

オーディオガイドは10か国語で利用可能です。ジャケマル＝アンドレ夫妻の歴史や作品の背景を理解するのに特に役立ちます。特に、訪問者が少ない展示室での活用が推奨されます。

快適さ

各フロア間を移動する必要があるため、平らで履き心地の良い靴をお選びください。訪問中ずっと快適にお過ごしいただくために、ヒールの高い靴は避けてください。



よくある質問

よくある質問

ジャケマルタン・アンドレ美術館の入場券はオンラインで予約する必要がありますか？

はい、待ち時間の回避と入場の確実性を高めるため、オンライン予約を強くおすすめします。オンラインで購入したチケットは、博物館への直接入場パスとして機能します。特別展期間中は、予約時に15分間の時間帯枠が指定されます。

オンラインで購入したチケットはいつでも有効ですか？

いいえ、チケットは購入時に選択した特定の1日のみ有効です。特別展期間中は、時間帯枠の選択が必須です。注文確定前に、特別展日程に関する具体的な条件をご確認ください。

ファミリー向けの経済的なプランはありますか？

はい、ファミリーチケットは51ユーロで、大人2名と子ども2名（7〜18歳）が一緒に見学できます。お子様が複数いる場合にお得な選択肢です。7歳未満は無料で、特別なチケットは不要です。

プリヴィレージュカードを使用して入場できますか？

プリヴィレージュ ソロカード（50ユーロ）は、Culturespacesが管理する複数の施設で優先入場や特典を利用できます。パリの複数の博物館を訪れる予定であれば経済的です。ジャケマルタン・アンドレが現在のパートナー施設リストに含まれているかご確認ください。

博物館の見学にはどのくらいの時間がかかりますか？

常設コレクションと特別展を存分に楽しむには最低2時間を推奨します。この博物館はプライベートな邸宅のため、各展示室をじっくりと鑑賞してください。体験をより深く味わうために、最後にティーラウンジでの休憩をおすすめします。

ご存知ですか？

エピソード＆トリビア

厳格な遺言条件

1912年、ネリー・ジャケマルはフランス学士院にこのホテルを遺贈し、家具を絶対に移動してはならないという明確な条項を付しました。この要求により、元の考古学的展示配置が保存され、現在の博物館界では稀有な真実性が提供されています。

帝国的な富

エドゥアール・アンドレは当時としては莫大な額である152万フランでこの土地を取得しました。この資金は建設費だけでなく、初期のコレクション購入にも充てられ、最初の数年間にはレンブラントやヴァン・ダイクらの作品が含まれていました。

大統領による開館式

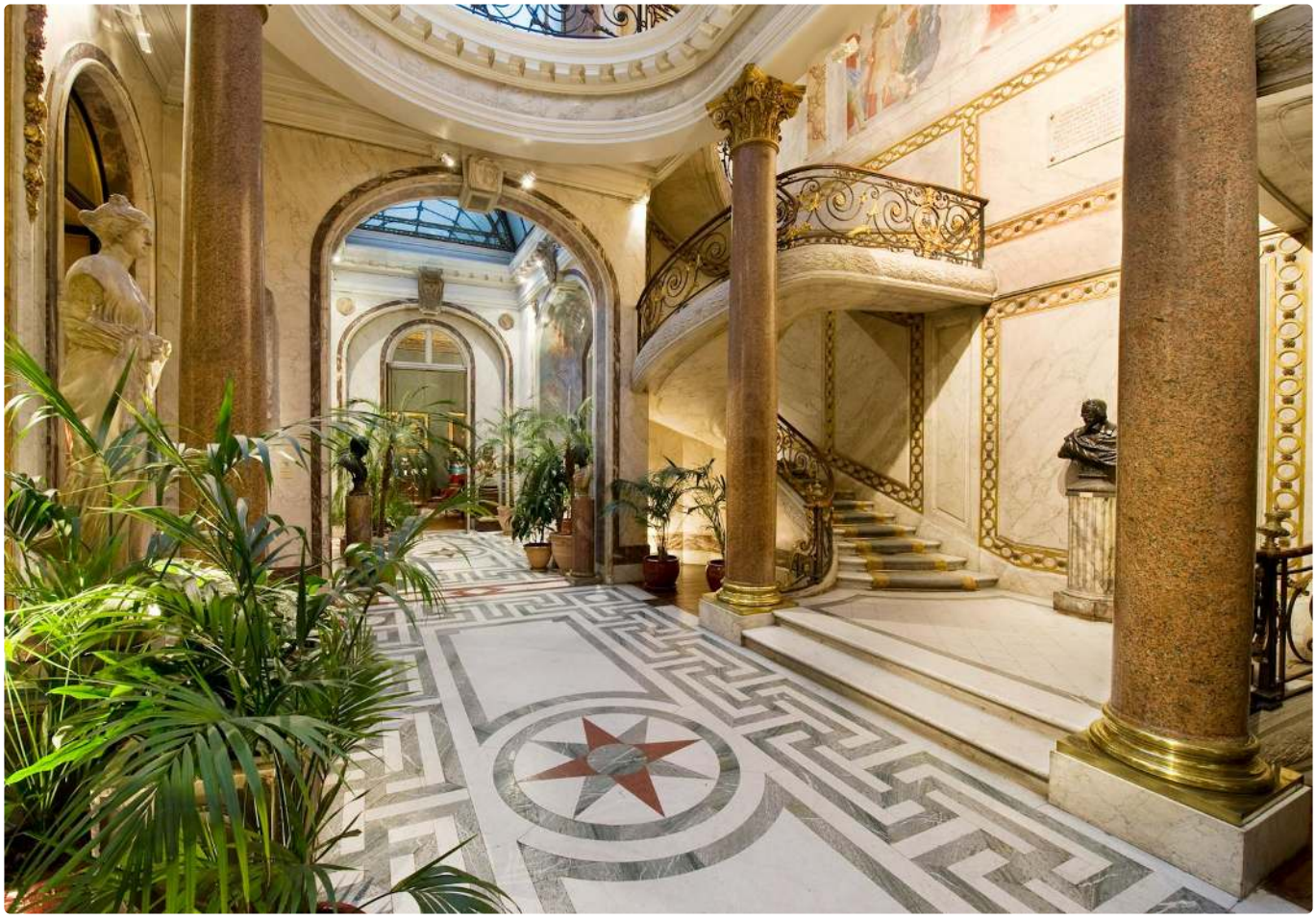
この美術館は、1913年12月8日にレイモン・プアンカレ大統領によって盛大に開館されました。このイベントにより、この私邸の一般公開が正式に行われ、祝祭の場であったものが、すべての人々に開放された芸術の神殿へと変貌を遂げました。

最近の修復

2023年秋から始まった1年間の工事により、ティエポロのフレスコ画と階段の大理石が修復されました。これらの作業によって、これらの重要な要素は元の輝きを取り戻し、訪問者は1913年に近い状態で博物館を鑑賞できるようになりました。

博物館周辺

この博物館は、名高い第8区に位置し、卓越した文化的環境を享受しています。 徒歩数分の距離に、オッペラ・ガニエ（Palais Garnier）や、19世紀のパリにおけるラグジュアリーな宝の一例であるニッサン・ド・カモンド美術館があります。 美食体験をより深く味わっていただくために、ホテル「ル・メュリス」は歴史的な空間で特別なランチをご提供しています。 訪問後にリラックスしたい場合は、チュイルリー公園がルーブル美術館へ向かう静かな散策路を提供し、ギャルラリーフayetteは手頃なショッピングやモダンなコーヒーブレイクのために引き続き利用可能です。



ジャケマール＝アンドレ美術館を去るとき、それはベル・エポックの一片を胸に抱いて去ることである。 この訪問は、単なる名品の探索ではなく、時代を超えた洗練された世界への感情的な没入です。 熟練した芸術愛好家であれ、単なる好奇心から訪れた方であれ、この私邸が芸術の殿堂へと変貌を遂げた姿は、写真に収められたイメージを超えて、忘れがたい思い出を残してくれるでしょう。